

資料3 - 1

木之本町における放牧の概要 ～ 獣害の防止・耕作放棄地解消の取り組み～

滋賀県農業技術振興センター栽培研究部湖北分場
石庭孫義

1. 小山地区の概要

集落側



山側

基盤整備水田

5haの内 3.5ha
が耕作放棄か不作付

小山における放牧前の水田利用状況
(平成12年まで)



放牧前の耕作放棄された基盤整備田



放牧を開始(H13年8月)

- 1) 放牧面積1ha(平成14年からは2haに拡大)
- 2) 繁殖和牛2頭(後半に綿羊、山羊各3頭)入牧
- 3) 餌は野草のみ



放牧1年目終了時の状況(平成13年10月)



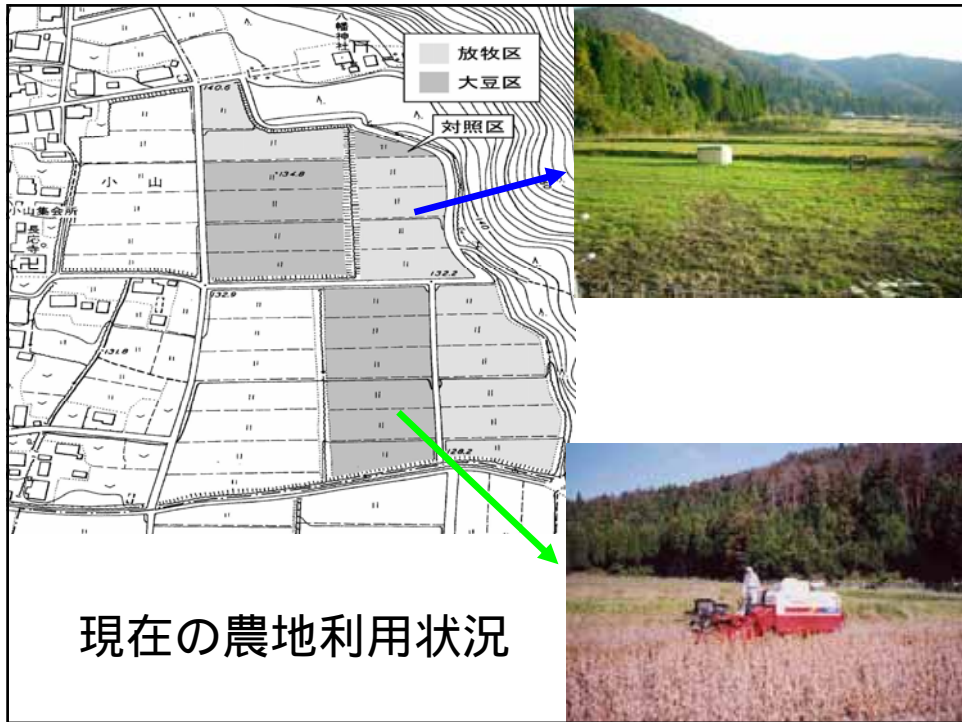
牧草4種類を播種(H13年11月)



← 放牧2年目(H14年6月)

放牧2年目終了時
(H14年11月) →





2. 杉野地区の状況



▨ 被害農地
— 獣道

放牧前の杉野の獣害状況



放牧開始前の農地



放牧開始(H15年5月)



放牧2年目開始
(H16年5月)

放牧2年目終了時
(H16年11月)



放牧による効果

1. 獣害がなくなった
2. 荒廃農地から収益を得ることができた
3. 景観がよくなった
4. 集落が活性化した



小山地区の場合
年間の経済効果 215万円